

普及活動情勢報告（平成29年3月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

他産業の力を借りて ～JA高知春野 労働力確保対策PT会



キュウリの摘葉作業を実演

JA 高知春野 PT 会では、4～5 月のキュウリ労働力不足への対策として、比較的その時期、労働力に余裕のある建設業との連携を検討してきました。

3 月 1 日、初めて建設会社 2 社と農家 1 名を引き合わせ、実現の可否の打ち合わせを行いました。受委託契約の結び方や価格設定等を検討した後、場所をキュウリほ場に移して、実際の作業を見て貰いました。

問題は数々ありますが、まずはモデル・ケースとして取り組んで貰えることが決定しましたので、普及所は 2 ヶ月間、経過と結果を確認し、部会等に情報をつないでいきます。

伝統野菜の魅力を PR！ ～商店街有志の会「金陽クラブ」勉強会～



「Team Makino」の活動を紹介

普及所が事務局を務める「Team Makino」では伝統野菜の販路拡大のため、PR 活動に力を入れています。3 月 3 日に野村證券高知支店ビルにて、商店街有志の会「金陽クラブ」の勉強会に「Team Makino」代表の熊澤氏が招かれ、伝統野菜に関する講演が行われました。

「牧野野菜」の由来や活動内容のほか、消費者やメディアからの注目度も併せて説明しました。反応は上々で、終了後には早速面談の希望が入るなど、今後の展開が期待できるものとなりました。

「Team Makino」では来年度の活動として、県内の他産地と協力した即売会も計画にあげています。今後は商業・観光業とも手を結んで行くことも視野に入れ積極的に取り組んでいきます。

さらなる収量アップを目指して ～環境制御巡回指導～



若々しいキュウリのほ場

3 月 9 日に JA 高知春野管内の炭酸ガス発生機を導入してキュウリを栽培している生産者 6 名のほ場を巡回指導しました。生産者は導入をきっかけに、①天窓開度の操作によるハウス内の温・湿度に注意し始めた、②内張りビニルをあげて日射量を多く入るようになった等の変化があり、結果、樹姿は若々しく、適正な樹勢になっています。導入者からは「キュウリ栽培が楽しい」、「光合成能力を高めることが出来た」、「目指せ 30 t」等の声がありました。

今後、普及所は実証ほの調査を継続し、さらなる収量アップに向けて支援を行っていきます。

イタドリのルネッサンス ～イタドリの地下茎の掘り起こし～



イタドリの掘り起こし風景

高知市では、耕作放棄地対策や加工品の県外販売を目指して、H29 年度より大々的にイタドリの振興に取り組むことが決まっています。3 月 9 日、イタドリの生産者 4 名、JA 高知市、高知市農林水産課、高知県地域本部職員が集まり、高知市鏡、梅の木地区のガニ越えでイタドリの増殖のため地下茎の掘取りを行いました。

普及所からは定植方法や施肥管理について講習を行いました。生産者からは、植え付け時の芽の方向についてなど活発な質問が出されました。

今後も、県外視察や定期的な講習会などを開催し、鏡地域のイタドリの復興に取り組む生産者を支援していきます。

アリガル酸素混合水の効果は？ ～高知市営農技術会議での試験の中間報告～



イチゴを見比べる生産者

3 月 16 日、高知市介良でイチゴの目慣らし会を実施し、生産者 11 名が参加しました。普及所からは 11 月から試験を行っている、アリガル酸素混合水（酸素を強制的に混入）の灌水試験の中間報告を行いました。この水での灌水で生育に大差は見られませんが、一花房当たりの花数が多く、収量も増え、新葉の展開も早い等の効果がみられました。

この水に関心を持って導入を考えている生産者もいるので、今後も継続して調査を行い、最終的な収量や栽培終了後の根の様子、経営試算も行う予定です。